

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2012
平成24年

6.15

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーター紹介	
金環日食クルーズ・たはらまちフェス	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12

夏へといざなう
海辺の花！



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーター紹介……………2ページ
- 金環日食クルーズ・たはらまちフェス……………3ページ
- 地域の話題（野田校区南地区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



はじめまして! 平成24年度 広報サポーターです。

田原市が募集した広報サポーターに、私たち6名が選ばれました。これから広報作成やケーブルテレビ市政番組、ツイッターやブログなどにかかわってまいりますので、よろしくお願ひします。身近な話題や、ためになる情報など、市民の皆さんにお届けしていきます。皆さんの地域にも取材に伺うかもしれませんので、ご協力をお願いします。

● 広報秘書課 ☎22局0138

市民記者として、今年も田原市の魅力満載の記事を皆さんにお届けします。



鈴木理絵
(清田校区)

田原市で栽培される花々や食文化をテーマに、田原市について、より多くの方に知っていただけるよう、広報紙などを通してご紹介します。



河合 恵
(神戸校区)

海があり、食べ物がとても豊富です。田原市の魅力を、「食」を通してお伝えできればと思います。



河合亜紀
(神戸校区)

田原のいいところやイベント情報などについて、楽しくつぶやいています。ぜひフォローしてくださいね♪

♥ ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/KohoTahara>

CATV「街角ネットたはら」のナビゲーターとして、皆さまへ情報をお伝えします。一年間よろしくお願いいたします。



高橋愛佳
(神戸校区)

子育てを中心に、田原の魅力についてブログを通して伝えたいです。皆さん遊びに来てくださいね♪

♥ ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>



重本伊代 (中山校区)



浪崎季代美
(高松校区)



▲デッキには日食グラスを手にした人の列ができました



▲雲間から観測できた金環日食

5月21日(月)、田原市と三重県鳥羽市とを結ぶ伊勢湾フェリーで、金環日食を洋上で観測する金環日食観賞臨時便が運航されました。愛知県外などから17名が乗船し、世紀の天体ショーを見ようと、専用サングラスを手に、太陽を見上げる人の姿が見られました。少し雲があつたものの、神島沖からリング状の太陽を観賞することができ、乗船客からは歓声が上がっていました。



『金環日食』 フェリーで洋上観測

鳥羽伊良湖航路活性化協議会



●花束を作り人々を魅了した「花男子」の皆さん



●人気を集めたヤギと触れ合うブース



●終日にぎわった「平成御厨ぶらり市」

※御厨とは、皇室や伊勢神宮に特上の産物を献上する土地のこと。渥美半島からも、新鮮な海産物や絹織物、山の幸が届けられていたという。

5月20日(日)、たくさんの人たちに田原市の魅力を知ってもらおうと、「第1回たはらまちフェス」を開催しました。このイベントのため、「田原まちなか研究会」「NPO法人たはら本舗」「みんなのたはら元氣ネット」で実行委員会を組織し、田原市の魅力をギュッと凝縮した二つの企画を準備しました。

一つ目は、三河田原駅前、地元のごだわり生産者を集めた物産市「平成御厨ぶらり市」。イベント当日は、野菜、花き、水産物、加工品などを買い求めるお客さんで、大変にぎわいました。

二つ目は、商店街や歴史・史跡などを巡るウォークラリー「まちなかおもてなしウォーク」。当日は、田原の中心市街地で地図を片手に散策する人の姿が多く見られました。中でも、豊橋鉄道とのタイアップによる電車車両の体験イベントには、たくさん親子連れが訪れました。

どちらの企画も、予想していた以上の盛況ぶりでした。実行委員会では今回の経験を生かして、今後も田原市の魅力を発信し、地域経済の活性化を促すイベントを展開していきたいと考えています。



『第1回たはらまちフェス』 田原市の魅力を発信

たはらまちフェス実行委員会





▲写真を懐かしむ来場者



▲完成した野田南集会所

地域の話題

野田校区(南地区)

よみがえる懐かしき記憶

次世代へ願いを込めた贈り物

地域のつながりを大切にする野田校区コミュニティ協議会から

野田南集会所の完成ならびに写真展の報告がありました。

今 春、野田南地区に待望の集会所が完成し、4月1日(日)にお披露目を兼ねた竣工式を行いました。

地域の憩いの場に

新築前の野田南集会所は、「会堂」と呼んで親しまれていましたが、老朽化(築81年)による建て替えが長年の課題となっていました。集会所は地域コミュニティに欠かせないと、10年ほど前から南地区全戸で積み立てを続け、平成23年度に市のコミュニティ施設等整備補助制度を活用して建て替えを行いました。

竣工式では、野田南集会所建設委員会の河合繁樹委員長のあいさつに続き、野田校区の河邊寿夫校区会長が「この新しい集会所が南のコミュニティの拠点となり、また、南の皆さんの憩いの場となることを祈念いたします」と祝辞を述べました。集会所の完成を待ち望んでいた人たちは、木の温もりを肌で感じながら、思い思いに見学をしていました。

南地区100年を振り返る

この竣工式と併せて「南地区100年の歩みの写真展」が開催されました。この写真展は南地区の河合正幸さんの発案により、集会所の完成に花を添え、地域の歴史をもつと若い世代の人たちに知ってもらおうと開催されたものです。老人クラブに協力を呼びかけ、各家庭で保存されている貴重な写真約70点が集まりました。



▲写真展を主催した河合正幸さん(野田町)

人と地域のつながり

集会所の完成と写真展の開催により、お年寄りから子どもまでがあらためて一つになった野田校区の南地区。これからも地域のつながりを大切にしていきます。



市民活動を応援するページ.....

市民活動紹介

衣笠小学校読み聞かせボランティアの会

～地域の子どもたちに絵本やお話しの世界を提供します～

田原市では、14の小学校でボランティアグループやPTAによる児童への読み聞かせが行われています。その中の一つ、15年間活動を続けている「衣笠小学校読み聞かせボランティアの会」をご紹介します。

衣笠小学校では、平成9年度から地域やPTAのボランティアの方が、毎週木曜日の授業前の15分間、読み聞かせ活動を行っています。年間約25回の読み聞かせを通じて児童が本に触れる機会を提供し、一緒に楽しい時間を過ごしています。

また、平成16年度から毎月1回学校図書館で、本棚のレイアウトを工夫したり、季節に合ったディスプレイを作ったり、児童が触れる本や図書館内の環境を整えています。一緒に読み聞かせボランティアをしてみませんか。お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんも大歓迎です。



▲お話しに耳を傾ける児童たち

衣笠小学校読み聞かせボランティアの会 ◆ 代表 杉山智子

問い合わせ ▶ 衣笠小学校 ☎ 23局1818

市民
提案

市の事業を受託してみませんか？

「市民提案型委託制度」は、行政が実施すべき性質の市民サービスなどについて、効果的な事業内容を提案した団体と市が委託契約を結ぶものです。市民協働で事業を実施することにより、少ない経費で高い効果を得ることが期待されています。市民活動団体の皆さんの、自由で柔軟な発想での提案をお待ちしています。今回募集されるテーマや応募方法は、以下のとおりです。

募集テーマ① 市民活動団体交流会「しみんのひろば」開催事業

[提案内容] 市全域を対象とした市民活動団体のPRの場、団体間交流の場の提供など

[事業費] 上限50万円

募集テーマ② 男女共同参画啓発事業

[提案内容] A: 啓発パンフレット作成

B: シンボルマーク作成、講座開催など

[事業費] 各上限20万円



● 募集期間 7月20日迄まで ※必着

● 提案内容 上記の募集テーマに即した事業で、平成25年2月28日迄までに完了する事業

● 対象団体 主に市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

● 応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して、直接または郵送で提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可 (<http://www.city.tahara.aichi.jp/> → トップページ右下「市民協働のまちづくり」)

● 審査方法 応募団体による担当課への提案説明により審査

● 応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎ 23局3504 ☎ 23局0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

※平成25年度実施の「自由テーマ型委託事業」については、別途募集が行われます。

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

① NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

② このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ : ☎ 22局 1111 (内線 812) ※ 開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 47
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での、『いずみ遊びランド』で魅力ある学校づくりに取り組む様子と、春の遠足の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

泉小学校「魅力ある学校づくり」 笑顔がいっぱい！『いずみ遊びランド』

泉小学校の校庭には、大きな松がたくさん立ち並び、その木の下に『いずみ遊びランド』があります。これは、平成23年6月に魅力ある学校づくり事業で整備したもので、のぼり棒、うんてい、ブランコなどの遊具がある遊び場です。

中でも一番人気は、砂場です。ジャングルジムの上から滑るすべり台があり、そこから滑り降りると砂場に到着。子どもたちは、「足湯！足湯！」と言いながら、近くの観察池からバケツで水を運んできて、足湯を作っていました。また、「だんご屋だよ」と、かわいいどろだんごを仲良く並べる姿や、砂山にあちこちからトンネルを掘る姿も見られました。

遊びを通して、子どもたちが協力したり、体力づくりができたりすることを期待しています。



●人気の砂場では、たくさんの子が遊びます



●観察池から水を運び、足湯を作ったよ



●甘くておいしいイチゴを食べました



●校区探検で、もっと大草、が好きになったよ

大草小学校「春の遠足」 縦割り班活動で仲良しになろう！

大草小学校の春の遠足は、全校児童による縦割り班で行っています。今年は4月17日に行い、午前中は校区にある観光農園で、大草保育園の園児や熟年友の会(地元の老人会)の方々と一緒にイチゴ狩りを楽しみました。甘い香りに包まれたハウスの中で、イチゴを頬張りながら、「甘いね。おいしいね」とみんな大喜びでした。

午後は、地域への親しみを深めるために、校区探検に出かけました。大草市民館や大泉寺、本郷神社などを周り、各ポイントでクイズやゲームを行いながら、得点を競い合いました。探検の途中では、歩き慣れない1年生に「足は痛くない?」「もう少しで着くからね」と高学年が優しく声を掛けたり、手をつないで歩いたりする姿が見られました。

どの班も学校に到着するまでには、上級生も下級生もすっかり打ち解け、仲良くなることができました。



▲環境学習も兼ねて、ゴーヤの苗を植える園児たち(南部保育園)



▲水面に青空が映るほどの快晴の下、気持ちのよい汗をかいた親子



▲避難所のより良い運営方法について、真剣に話し合う防災リーダーたち

5月21日(月)
緑のカーテンで
すずしやすしい夏を

緑のカーテン事業が保育園や小学校などの公共施設、53か所で始まりました。窓からの日差しをさえぎり、壁の表面温度の上昇を抑えることで、涼しげに夏を迎えようといわれたこの事業。冷房の使用が抑制され、節電効果も期待されます。

5月13日(日)
おいしいお米が
実りますように！

田植え体験がサンテパークたはらで行われ、親子91名が参加しました。田んぼの泥の感覚に驚きとまどっていた子どもたちも、しだいに慣れた手つきで苗を次々と植えていきました。この日植えられたもち米の一種「恵もち」は、9月上旬に収穫される予定です。

5月12日(土)
地域の防災のため
実践的研修を積む

防災リーダー研修会が田原文化会館で開催されました。各地区から参加した約100名は、避難所運営の図上訓練を行いました。地域の自主防災活動の中心となる防災リーダーの皆さん。今後も、研修や訓練で技術を磨いていきます。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

74

●田原市の電力ピークカット・節電の取り組み

今年も、夏季（6月～9月）の電力需要対策のため、平日の昼間時間帯（午後1時～4時）における電力使用量のピークカットを推進し、消費電力総量についても節電対策に取り組みます。

今回は、公共施設での主な取り組みをご紹介します。



☑ピークカットの取り組み

- 昼休みの時間変更（7月～9月）
市役所、渥美支所、赤羽根市民センターの昼休みについて、正午～午後1時を午後1時～2時とする。



● 会議時間の変更など（6月～9月）
市役所での会議開催は午前中とし、時間は原則1時間とする。

☑そのほかの節電の取り組み

- ノー残業デーの徹底、ノーエアコンデーの実施（6月～9月）
毎週水曜日と金曜日をノー残業デーとする。また、予想最高気温が28℃を下回る場合などは、庁内エアコンを稼働しない。
- 緑のカーテン事業（6月～9月）
市内53の公共施設で、ゴーヤやアサガオの緑のカーテンを設置する。

● 節電プログラム「エコでニコニコ大作戦」（4月～平成25年1月）
市内の小中学校で、児童・生徒や教職員が協力して節電を行い、削減できた電気料の全額をその学校に事務用品などで還元する。

● ご家庭でも電力のピークカットや節電にご協力をお願いします。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1786人、事業所80か所（5月末現在）

▼エコエネ推進課

☎ 23局7401 FAX 23局0180

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん②



ゴミミンとリサイクルレンジャー

大量のごみを燃やすとCO₂や有害物質が発生し、地球環境に悪い影響を及ぼします。今回は、家庭ごみの減量と、ごみを増やさないためのポイントをご紹介します。

●リサイクルショップ

● やフリーマーケットを活用

使わなくなったものを売り、必要なものを安く手に入れることができます。ごみを減らし、リサイクルできるだけでなく、お財布にも優しいというメリットがあります。

●ごみを出さない買い物を実践

● 買い物袋で買物し、シャランプリーや洗剤などは詰め替え可能な商品を選びましょう。



●まとめ買いは要注意

● 必要以上に買わないようにしましょう。使用期限や賞味期限が切れて捨ててしまうのは、ごみを増やすだけでなく、大変もったいないことです。

●生ごみを捨てる前に水切りを徹底

もやせるごみの約3割は生ごみで、その70～80%が水分といわれています。しっかりと水切りをし、ごみを減量しましょう。



●エコクッキングを実践

● 野菜くずをスープや付け合わせに活用するなど、食材を無駄なく使うように心がけましょう。また、食べられる量を盛り付けて、食べ残しをなくすることも大切です。



● 生活に密着した家庭ごみの減量のため、各家庭でできることから始めてみましょう。

▼清掃管理課

☎ 23局3538 FAX 23局0180



交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

姉妹都市 設楽町 みつはし とよくに 三都橋・豊邦交流センター

山や川などの自然を満喫できる、2つの交流センターをご紹介します。

●交流センターってどんなところ？

豊川上下流域交流促進を目的に、廃校になった設楽町の小学校を田原市が借り上げている施設です。

●利用方法は？

- 対象 田原市民 ※営利目的での利用は不可
- 活用方法 キャンプ、バーベキュー、スポーツなど
- 料金 無料(電気、水道などの使用料も無料)
無料レンタル品あり(ワンタッチテントなど)
- 申し込み 各交流センター会長へ電話にて(午後8時まで)

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 山口 邦夫さん	☎(0536)64局5439

※利用日当日、交流センターで申込書を記入

三都橋交流センター▶

【写真上】

豊邦交流センター

【写真下】



●周辺のおすすめスポットは？

豊邦交流センターから坂を下り、橋を渡って左折。最初に見える橋「だんごじま橋」付近は、広い浅瀬と穏やかな川の流れて、アウトドアに最適です。



詳しい場所およびそのほかの水遊びスポットは、市ホームページでもご紹介しています。

※両交流センターの詳細は、市ホームページの公共施設案内をご覧くださいか、お問い合わせください。

☎<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

■雨の強さと降り方、予想される被害など

1時間雨量(mm)	予報用語	人が受けるイメージ	予想される被害など
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く降り続くときは注意が必要。
20～30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる。側溝や小さな川があふれ、小規模な崖崩れが始まる。
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる。山崩れ・崖崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難準備が必要。
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る	水しぶきで視界が悪くなる。車の運転は危険。土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

※表は、同じ強さの雨が1時間降り続いた場合の目安を示しています。

こんにちは、けんちゃんです。6月は雨の多い時期で、大雨による被害が心配されます。今回は、雨の強さと降り方、それによって予想される被害などについてご紹介します。

被害防止のため最新の情報を入手
テレビやラジオなどで最新の情報を入手し、大雨に注意しましょう。
▼防災対策課 ☎23局3548



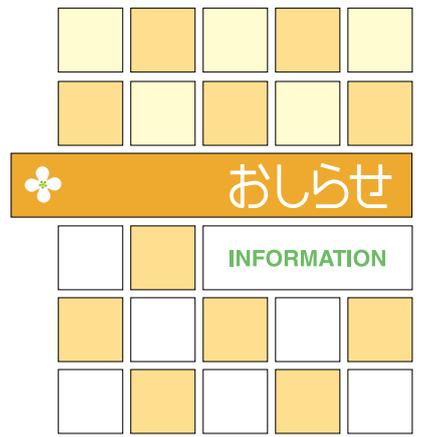
けんちゃん

防災知恵袋

14



みんなできり組む防災・減災



募集

WANTED

田原市臨時職員 (商工観光課)

▼募集人員 1名 ▼採用期間 8月1日(水)～10月31日(水) ▼勤務場所 田原市役所 ▼勤務内容 観光データなどの整理 ▼勤務形態 月々金曜日(祝日を除く) 午前8時30分～午後5時15分 ▼賃金 時給830円 ▼選考方法 面接(詳細は後日通知) ▼申し込み 7月9日(月)までに商工観光課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出/郵送の場合は締切日必着

吉胡貝塚資料館夏の体験講座

日時	講座名	内容	参加料
7/24(水) 13:00～16:00	縄文染め	縄文時代から使っていた自然の染料で染めます。	400円
7/29(日) 9:00～12:00	土器づくり	粘土をこねて縄文土器を作ります。 ※8/26(日)13:00～16:00には、作った縄文土器を野焼きします。	300円
7/31(火) 9:30～15:30	本格派貝のアクセサリ	バスで海岸に貝を拾いに行き、世界でたった一つのアクセサリを作ります。	200円
8/19(日) 13:00～16:00	縄文コースターづくり	縄文時代からある「あんぎん」という編み方でコースターを作ります。	300円
8/1(水)～7(日) 9:00～17:00 (随時) ※受付は15:00まで	夏休みの昔体験 竹の弓矢づくり 鹿角のアクセサリ	竹で弓矢を作ります。 小さな鹿の角を磨いてアクセサリを作ります。	200円 200円

▼商工観光課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3522 ☎22局3817
吉胡貝塚資料館 参加者
夏の体験講座
▼対象 12歳以下(小学3年生以下は保護者同伴) ▼日時/講座名/内容/参加料 表のとおり ▼定員 20名(先着順) ▼申し込み

電話またはFAX・Eメールにて
(FAX・Eメールの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号を明記)
▼その他 「ほの国こどもパスポート」をご提示いただくと、小・中学生の入館料が無料になります。
▼吉胡貝塚資料館
☎22局8060 ☎22局8070
✉yoshigo@city.tahara.aichi.jp

消防設備士試験

▼対象 一般 ▼試験日 8月26日(日) ▼場所 名古屋市内
▼種類 甲種特類を含む甲種全類・乙種全類 ▼申し込み 書面申請
7月17日(火)～25日(水)の期間に消防課(市役所南庁舎3階)または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ郵送にて【電子申請】7月14日(土)午前9時～7月22日(日)午後5時の期間に(消防試験研究センターホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>)にて



▼消防課
☎23局4074 ☎23局0180

● 豊鉄タクシー(株) ☎22局1171
● 定時運行
西行き(八王子東ライフランド) 午前9時30分八王子東発、午後1時30分・午後3時あつみライフランド発
▼その他 時刻表などは、市ホームページや関係地区へ配布するチラシをご覧ください。
▼市民協働課
☎23局3504 ☎23局0180
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

乗合タクシー八王子線「いずみ号」の運行ダイヤ変更

乗合タクシー八王子線「いずみ号」の運行計画の改善のため、7月2日(月)から運行ダイヤなどを変更します。本格運行に向けて、皆さん、ぜひご利用ください。
● 予約式運行の導入
定時運行以外の便は予約式となります。東行き(馬伏サンテパルク)をご利用の際は、前日の午後7時までに電話にてご予約ください。



生活

LIFE

後期高齢者医療制度の保険料率と賦課限度額を改定します

後期高齢者医療制度の財政運営期間は2年間としており、この期間の医療費の財源に充てるため、保険料率の改定を行います。

◆保険料が増加する理由

- ①被保険者一人当たりの医療費などが増加したこと
- ②高齢者人口が増加したことにより、後期高齢者負担率が上昇したこと

■保険料率

平成22・23年度の保険料率		平成24・25年度の保険料率	
所得割率	7.85%	所得割率	8.55%
被保険者均等割額	41,844円	被保険者均等割額	43,510円

■保険料

平成22・23年度の一人当たり平均保険料	75,775円	平成24・25年度の一人当たり平均保険料	80,214円
----------------------	---------	----------------------	---------

※7月の保険料算定から改定となります

◆保険料の賦課限度額を改定

平成24年度から、国の基準に合わせ、保険料賦課限度額の改定を行います。平成23年度までは50万円でしたが、平成24年度からは55万円となります。



※なお、所得の低い世帯の方の保険料の軽減については、平成23年度と変更ありません。

▼保険年金課

☎ 23局3514 FAX 23局0180

障害があると思われるお子さんの早期教育相談

愛知県教育委員会では、小学校入学前の、障害があると思われるお子さんと保護者を対象に、教育相談を実施します。相談は予約制で無料です。お気軽にご利用ください。

- ▼対象 3歳から小学校へ入学する前までの幼児および保護者
- ▼日時 8月2日(木)、3日(金) 午前9時～午後4時(要予約)
- ▼場所 東三河県庁
- ▼申し込み 7月2日(月)までに電話にて

▼学校教育課

☎ 23局3679 FAX 22局3811

夏の交通安全県民運動 7月11日(水)～20日(金)

この運動を通じて、思いやりのある運転と交通マナーの向上に努め、交通事故による犠牲者の一層の減少を目指しましょう。

●重点実施項目

- 高齢者の交通事故防止
- 歩行者・自転車の交通事故防止
- すべての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用
- 飲酒運転を根絶

▼市民協働課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

教員免許状をお持ちの方は教員免許の更新が必要です

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、現在、教員免許更新制が実施されています。今後、教壇に立つ見込みのある方は、生年月日に応じて修了確認が必要です。

免許の期限は、文部科学省ホームページで確認することができます。教員免許更新講習が必要な方は、申し込みや確認申請の手順などについて愛知県教育委員会ホームページでご確認ください。

◆文部科学省ホームページ

☎ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm

◆愛知県教育委員会ホームページ

☎ <http://www.pref.aichi.jp/000023795.html>

▼愛知県教育委員会教職員課教員免許グループ
☎ (052)954局6772



●昼休みの時間変更のお知らせ

市役所、渥美支所、赤羽根市民センターでは、電力使用量のピークカット推進のため、7月2日(日)から9月28日(金)の期間、昼休みを午後1時から2時とします。

窓口業務は、通常どおり行っています。ご理解をお願いします。

◆お詫びと訂正

広報たはらは6月1日号の消防かわら版に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◎指揮隊活動写真の説明(4頁右下)

指揮隊は、左の写真のように災害現場周辺で現場指揮本部を開設しています。関係者の方は、現場指揮本部へ情報提供をお願いします。

歴史探訪

クラブ!

其の
135

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

東大寺瓦発掘記念の暖簾

ここに、紙箱に丁寧に納められ、包装された暖簾があります。実は、これはただの暖簾ではありませんでした。紙箱には、「伊良湖窯址出土古瓦 暖簾」とシールが張り付けられています。暖簾は、伊良湖東大寺瓦窯跡から出土した瓦をデザインしたものです。この窯跡は、鎌倉時代に奈良の東大寺が再建されたとき、屋根を葺く瓦を焼いた窯として国史跡に指定されました。

暖簾には、屋根の軒先を飾る瓦に



●写真上から東大寺瓦発掘記念の暖簾、紙箱、解説と町長あいさつ文

刻まれた文字の拓本、また瓦に押された「東」「東大寺」の刻印もデザインの一部となり、考古学者の石田茂作の「我思古人」の書が添えられています。じつに洒落ています。箱の中にある石田の解説と、当時の渥美町長である杉浦太平のあいさつ文によると、石田が発掘現場に来たとき、この解説とともに図案を依頼されたもので、昭和41年の夏に制作されたものとわかります。しかし、な

ぜ発掘調査の記念でこれだけのことをしたのか、不思議で仕方ありません。私は、その理由が知りたくなり調べてみました。当時は、渥美半島で豊川用水工事が行われていました。用水の最終調整池である初立池の造成中に窯が見つかり、昭和41年5・6月に調査が行われました。同じ瓦を焼いた岡山県方富東大寺瓦窯は、昭和2年に国の指定となっていました。伊良湖の窯は、江戸時代から知られ、大正時代に国の現地調査でも確認されていたにも関わらず、なぜか注目されませんでした。しかし、昭和41年の調査で初めて東大寺の瓦を焼いた窯が発掘され、瓦まで見つかりました。連日、テレビ局や新聞社、多くの考古学者、陶芸家、瓦製造関係者までもが発掘現場を



訪れ、大変なにぎわいだったと、昭和41年の渥美町の広報紙に記されています。また、「大仏殿瓦記念館」の建設運動まで起こったとも記されています。この盛り上がり、暖簾を作った理由だったようです。

46年前の渥美町民は、誰もが知っている日本の歴史と町の歴史が重なった感動に酔いしれていました。その証言者がこの「暖簾」なのです。

※石田茂作（1894～1977）は、岡崎市出身で奈良国立博物館の館長を務めるなど、仏教考古学の基礎を築いた権威。

【お詫びと訂正】前号で「熊野那智地方」を三重県とご紹介しましたが、正しくは和歌山県でした。お詫びして訂正いたします。

（増山）

今月の「表紙」

▼花言葉の一つが「絆」だというハマヒルガオ。5月の連休から咲くのを待ちわびていましたが、咲き始めたころ、ひょうが降って花びらがボロボロに……。それから10日後、見事に復活した一面のピンク色の花に感動しました。可憐だけれど力強いこの花には、サーファーの姿が良く似合います。（○）
【表紙の写真】ロコパークのハマヒルガオ（赤羽根町）